

平成 23 年度 地域のための樹木保全セミナー

大津波と樹木



第四紀に至り衰退する裸子亜門のなかで、マツ類は勢力をもち、救世主のように見えます。私たち日本人とマツとの交わりは、歴史に長く生活に広く心に深く、今日に及んでいます。等しく惨禍をこうむったマツたちにも、復旧・復興を願うのは、至極当然と言えます。専門家から、現状と対策について、やさしくお話していただきます。

講演

1. 高田松原の希望の一本松の保全対策

米内 吉栄 (日本造園建設業協会 岩手県支部長)

2. 津波後の臥龍梅

高村 尚武 (日本樹木医会 岩手県支部)

3. 明戸の夫婦松と被災アカマツの特徴

佐藤 平典 (日本樹木医会 岩手県支部)

日時 平成 23 年 12 月 9 日 (金) 13 時~15 時

場所 岩手大学農学部 7 番講義室 (総合教育研究棟)

主催 樹木資源利用研究会 (岩手農林研究協議会 (AFR))、日本樹木医会岩手県支部
参加 どなたでも自由に参加できます。

連絡先 〒020 - 8550 盛岡市上田三丁目 18 の 8

岩手大学農学部 環境樹木・造林学研究室 橋本良二

Tel. 019 - 621 - 6139, E-Mail. hashimot@iwate-u.ac.jp

